カラーテレビドアホン

品名　センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ　　品番　VL-W810K

■概要

本機は、カラーテレビドアホン等（※）のドアホン親機に増設（登録）して使用するセンサーライト付きの屋外専用ワイヤレスカメラ（カメラ）です。本機の人感センサーが不審者等を検知し反応すると、登録したドアホン親機、子機に呼出音と映像で知らせます。また、人感センサー反応時、カメラ周辺の明るさにあわせて本機のLEDライトが自動点灯するなどの便利な機能を備えています。
（※）増設可能な機種（2005年12月現在）
VL-SW100K（親機VL-MW100K）、VL-SW100MK（親機VL-MW100K）、VL-SW102K（親機VL-MW102K）、VL-SW104K（親機VL-MW104K）、VL-SV104K（親機VL-MW104K）、VL-SW105K（親機VL-MW104K）、VL-SW102AK（親機VL-MW102K）

■特長・機能

（1）4台まで設置（登録）できます。
本機はドアホン親機に4台まで設置（登録）できます。屋内用ワイヤレスカメラ（VL-W800）をお使いの場合は、合わせて4台まで設置が可能です。

（2）不審者等を呼出音と映像で知らせます。
本機の人感センサーが不審者等を検知し反応すると、ドアホン親機、子機に呼出音と映像で知らせます。呼出しに応答すると、カメラ側の音を聞くことができます。必要に応じてカメラ側へ呼びかけることができます。
※人感センサー反応時、センサーとLEDライトのみ動作させて、ドアホン親機・子機に着信させないようにすることができます。
※センサー反応時の映像がドアホン親機に自動で録画されますので、留守のときでも、あとから確認できます。

（3）カメラ周辺の様子を映像と音でモニターできます。
カメラ周辺の様子をドアホン親機、子機で確認できます。また、モニター中に必要に応じてカメラ側に呼びかけることができます。
※カメラモニター中に画面の明るさや受話音の大きさを変えることができます。
※カメラを2台以上登録しているときは、順次切り替えてモニターできます。
※カメラ周辺が薄暗いとLEDライトが点灯します。LEDライトを常時点灯させたり、点灯しないようにすることもできます。
※センサー反応時の映像は、モニター開始時から約3秒おきに撮影され、ドアホン親機や子機の画面上で次々に更新しながら表示されます（静止画）。

（4）人感センサーが検知する直前の映像1枚と直後の映像3枚を撮影します。
動く被写体を撮影しやすくするため、まず、人感センサーが検知する直前の映像を1枚撮影します。さらに、続けて検知直後の映像3枚を撮影します。
※人感センサーが検知する前の映像1枚を撮影しないようにすることもできます。

（5）カメラを登録したドアホン親機、子機で録画・再生ができます。
●カメラの映像は、ドアホンの映像と合わせて最大100枚までドアホン親機に録画（保存）・再生できます。 録画枚数は、設定によりドアホン（30枚）とカメラ（70枚）に分けることもできます（録画枚数振分）。

概要 / 特長・機能	
品　番	VL-W810K
品　名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ

パナソニック コミュニケーションズ株式会社

作成年月	2005.12	図面整理番号	——	SC-0

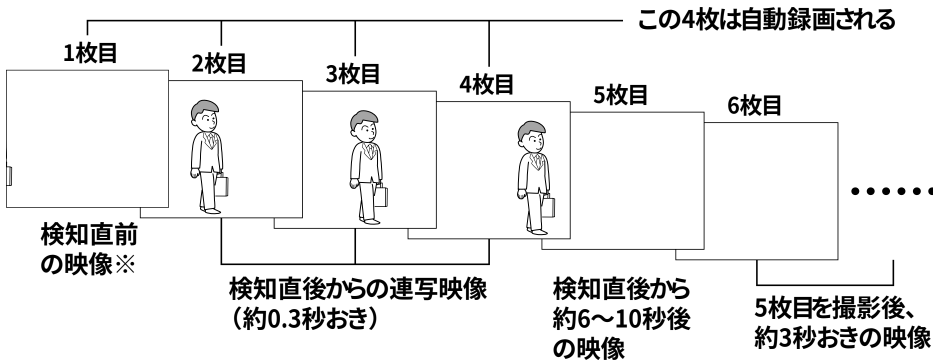
●人感センサーが反応したときに撮影された最初の4枚が、自動的に録画されます（留守の場合も録画されますので、あとで確認できます）。
※検知前撮りスイッチ「入」の場合（出荷時の設定）は、検知直前の映像1枚、その後0.3秒おきに3枚の映像を自動録画します（計4枚）。
※ドアホン親機や子機で通話中やモニター中に、センサーが反応して呼出しがあったときは、通話中やモニター中の機器でカメラの呼出しに応答しないと、自動録画されません。
※自動録画しないように変更できます。
※録画中に別の機器から着信があると、4枚録画できないことがあります（最低1枚は録画されます）。
※ドアホン親機や子機から手動でも録画できます。

（6）外部入力端子に別売りの外部スイッチ、センサーを接続できます。
本機の外部入力端子に別売りのスイッチ、センサーなどを接続すると、LEDライトの「入」「切」が手元でできたり、カメラ側からドアホン親機や子機を呼出したりすることができます。
※許容線種〔単芯線（mm）：φ0.32～φ0.65〕。接続する機器の仕様にあった線径を使用します。

■人感センサー反応時の映像について

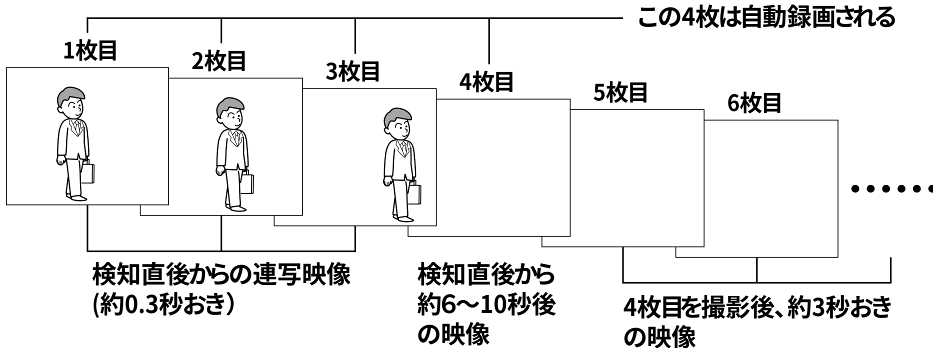
人感センサーが反応すると、下記の間隔で映像（静止画）が撮影され、ドアホン親機や子機の画面上で次々に更新しながら表示されます（動画ではありません）。また、1～4枚目の映像は、検知前撮りスイッチの設定によって異なります。

（1）検知前撮りスイッチ「入」の場合（出荷時の設定）



※カメラ周辺が暗いときは映像も暗くなります。
（センサー反応前の映像のため、カメラ周辺が暗いときもLEDライトは点灯しません。）
また、動きのある被写体などは、映像にぶれが生じることがあります。

（2）検知前撮りスイッチ「切」の場合



特長・機能 /人感センサー反応時の映像について	
品　番	VL-W810K
品　名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ

■カメラの各機能の設定、変更について

カメラ１～４に対し個別に機能の設定・変更ができます。

（1）ドアホン親機または子機で行います。

※VL-SW100K、VL-SW100MKをお使いの場合は、子機（VL-W600）のみで設定・変更を行います。

※ [ ] のついている内容が出荷時の設定です。

機 能	機能の概要と設定内容
カメラ出力音	センサーが反応したときに、カメラから出る音の種類を選ぶ [音A]、音B、音C、音D （音A：ピポッ（反応音） 音B：ピポポッ、ピポポッ、ピポポッ（警戒音） 音C：ポーン（優しい音） 音D：ピンポーン（ドアホン音）） ●音の種類を選ぶとき、選んだ音を確認するには◎を押す
カメラ出力音量	センサーが反応したときに、カメラから出る音の大きさを選ぶ 大、[中]、小、切 ●「切」を選ぶときは◎を3秒ぐらい長押しする
センサー種別	センサー反応の種別（人感/外部入力/OFF）と次のセンサー反応までの時間（60秒/20秒/常時）、センサー反応時の自動録画の有無（ON/OFF）を選ぶ [人感/60秒 自動録画ON]、人感/60秒 自動録画OFF、 人感/20秒 自動録画ON、人感/20秒 自動録画OFF、 外部入力/60秒 自動録画ON、外部入力/60秒 自動録画OFF、 外部入力/20秒 自動録画ON、外部入力/20秒 自動録画OFF、 外部入力/常時 自動録画OFF、OFF（センサー反応しない）
人感センサー感度	人感センサーの感度を選ぶ [標準]、低い ●正面方向の検知距離は、「標準」で約5m、「低」で約2mになる （周囲温度：約20°C時） ●センサーが反応しすぎるときは「低」を選ぶ
カメラマイク感度	モニター中や通話中に、ドアホン親機または子機から聞こえるカメラ側の音の大きさを選ぶ [大]、中、小、切 ●「切」を選ぶとカメラからの音は聞こえない
カメラ受話音量	ドアホン親機または子機との通話時に、カメラから出る音声の大きさを選ぶ [大]、中、小
ランプ表示	カメラのランプを常に点灯させるときは「常時」、モニターや通話のみ点灯させるときは「通信時」、消灯させておくときは「消灯」を選ぶ [常時]、通信時、消灯
ズーム	カメラからの映像を拡大するかしないかを選ぶ [標準]、拡大（約1.6倍）
露出補正	カメラ周辺が暗くなると設定した露出補正値にしたがって画質を調整します。ここでは、その露出補正の度合いを選びます。 （映像が暗くなる）-3、-2、-1、[0（標準）]、+1、+2、+3（映像が明るくなる） （被写体が映りにくくなる）（映像が白っぽくなったり、ぶれやすくなる）
上下反転表示	本機では、この設定は機能しません。 する、[しない]
設定の初期化	上記のカメラ設定を、出荷時の状態に戻す

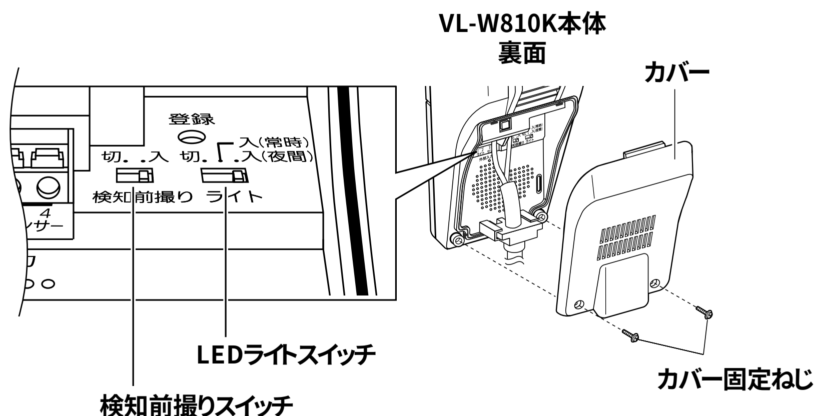
カメラの各機能の設定、変更について	
品番	VL-W810K
品名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ

（2）VL-W810K本体で行います。

機　能	機能の概要と設定内容
検知前撮り	動く被写体を撮影しやすくするため、人感センサーが検知する直前の映像を1枚撮影するかしないかを選ぶ ●検知前撮りスイッチで行う 切.　.入（夜間）：撮影する（出荷時） 切.　.入（夜間）：撮影しない
LEDライト	カメラが動作したときのライトの点灯のしかたを選ぶ ●LEDライト切替スイッチで行う （切り替えは、先端の細いものを使って行ってください） 切.　.　.入（夜間）／入（常時）：カメラ周辺が薄暗いまたは暗いと点灯する（出荷時。一日中、防犯したい場合に） 切.　.　.入（夜間）／入（常時）：カメラ周辺の明るさに関係なく動作時は常に点灯する 切.　.　.入（夜間）／入（常時）：カメラが動作しても点灯しない

※検知前撮りスイッチや、LEDライト切替スイッチを変更するときは、電源を切り、カメラを壁掛けスタンドから外してください（電源が入っていると、人感センサーが反応してLEDライトが点灯します）。

・検知前撮りスイッチとLEDライトスイッチ



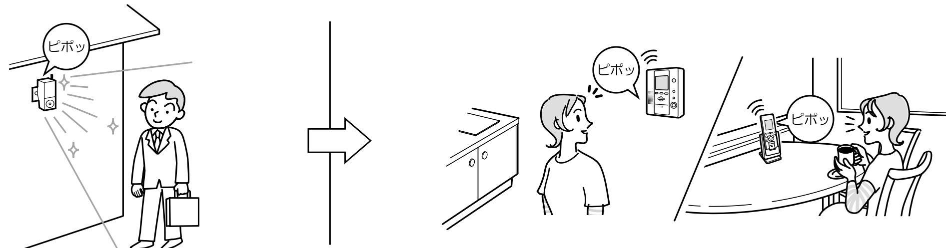
カメラの各機能の設定、変更について	
品　番	VL-W810K
品　名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ

パナソニック コミュニケーションズ株式会社

作成年月	2005.12	図面整理番号	——	SC-0

■カメラの防犯効果について

❶ 検知



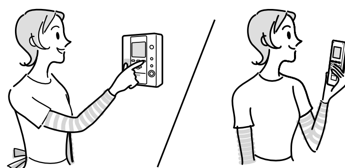
・カメラの人感センサーが訪問者等を検知し反応します。

・家中どこにいても音と映像で確認できます。

・これまでは家中に響きわたるような大きな呼出音で来客を知り、1階のセンター装置のところへ行きモニター画面で相手を確認していました。
→ワイヤレスだから家中どこにいても手元で耳にやさしい音と映像で確認できます。大きな音の不快さ、確認にその都度センター装置まで戻るわずらわしさが解消し、来客応対時にストレスなく使うことができます。

❷ 確認・応対

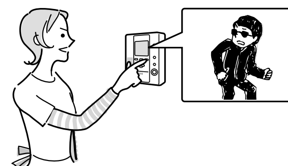
（1）訪問者が映っていたら…



・親機・子機で音と映像で確認したあと訪問者とお話ができます。

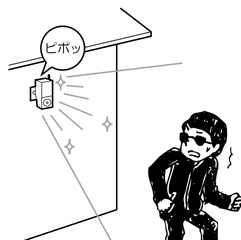
（2）人影が映っていないなかったら…

・カメラの人感センサー反応時に、映像がドアホン親機に自動録画されます。
↓
・録画を見て、訪問者を確認できます。
↓
・不審者が映っていたら、その状況に合ったいち早い対応が可能です!!



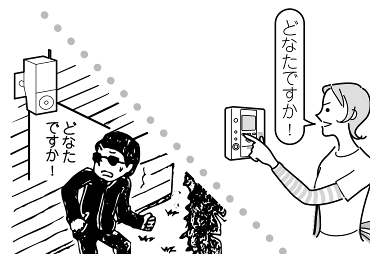
❸ 威嚇

・カメラの人感センサーが不審者を検知し反応すると、ライトが点灯します。



・白色LEDライトのため、明るい昼でも威嚇効果があります!!

（3）不審者が映っていたら…



・システムのボイスチェンジ機能を使って、不審者を威嚇します（女性の声を男性の声のように変える）。近所迷惑にならずに不審者を撃退できます。

・危険に近づかずに、その場で即、防犯対応ができます。警報音の発報などにより近所に迷惑をかけることもなく、ストレスのない安心・安全の確認・対応が可能です。

カメラの防犯効果について	
品　番	VL-W810K
品　名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ

パナソニック コミュニケーションズ株式会社

作成年月	2005.12	図面整理番号	——	SC-0

■カメラの使用条件

●親機との間に何も障害物がない場合、約100m以内の距離で使えます。
●親機との間に下記のような障害物などがあると電波が遮られて極端に弱くなります。このため、親機との距離が近くても、プツプツ音がして音声が途切れたり、画像が乱れたり、画像の更新が遅くなったり、圏外になって使えないことがあります。
・金属製のドアや雨戸、防火ガラス　・アルミはく入りの断熱材が入っている壁　・コンクリート、石、レンガやトタン製の壁　・壁を何枚もへだてたところ
●補聴器をお使いの場合、補聴器の種類によっては通信中に雑音が入ることがあります。

＜傍受について＞
本機は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使用している関係上、第三者が故意に傍受するケースがあります。
●傍受（ぼうじゅ）とは、無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

■電波の干渉について

本機は、2.4GHz（ギガヘルツ）の周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器が使用していますので、電波の干渉による音声や画像の乱れなど、本機や他の機器の動作や性能に悪影響を及ぼすことがあります。本機は電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、下記の機器から約3m以上離して設置することをおすすめします。
●電子レンジ
●無線LAN機器（ルーター、AV機器、防犯機器など）
●その他、2.4GHzの周波数帯の電波を使用している機器
・ワイヤレスAV機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）　・ゲーム機のワイヤレスコントローラー　・万引き防止システム（書店やCDショップなど）　・アマチュア無線局　・工場や倉庫などの物流管理システム　・鉄道車両や緊急車両の識別システム　・マイクロ波治療器　・デジタルコードレス電話機（ファクス）　・その他、Bluetooth(TM)対応機器やVICS（道路交通情報通信システム）など
●本機は、2.4～2.4835GHzの全帯域を使用する無線設備です。移動体識別装置の帯域が回避不可能で、変調方式は「FH-SS方式」、与干渉距離は80mです。本機には、それを示すマークが貼付されています。

＜電波に関するご注意＞
本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
1．本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2．万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本機の電源プラグを抜いて、お客様ご相談センターにご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3．その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、お客様ご相談センターへお問い合わせください。

●ナショナル/パナソニック お客様ご相談センター（365日/受付9時～20時）
電話（フリーダイヤル）0120－878－365（携帯電話・PHSでのご利用は…06－6907－1187）
FAX（フリーダイヤル）0120－878－236

カメラの使用条件/電波の干渉について	
品　番	VL-W810K
品　名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ

パナソニック コミュニケーションズ株式会社

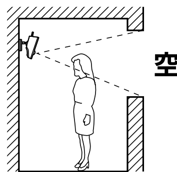
作成年月	2005.12	図面整理番号	――	SC-0

■カメラの設置条件

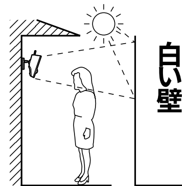
《こんなところには設置しない（変形、故障、誤動作の原因）》

・直射日光があたる場所や外灯の真下など、周囲の温度が高くなる場所
・冷暖房室外機の近くなど、温度変化の激しい場所
・振動・衝撃や、反響の多い場所
・油汚れがついたり、蒸気がかかる場所
・火気・熱器具や、磁石などの磁気の近く
・携帯電話など強い電波を発する製品の近く
・前方にガラスなど、温度変化の検知を妨げたり、反射するような障害物がある場所
・人感センサーの検知範囲（下記）に洗濯物、カーテン、植木、交通量の多い道路がある場所
・硫化水素、リン、アンモニア、炭素、酸、ほこり、有毒ガスなどの発生する場所
・海岸の近くや直接潮風があたる場所、温泉地の硫黄環境
（塩害などにより製品寿命が短くなることがあります。）
・昼間でも木陰などで影になったり、夜でも外灯で明るくなるなど、明るさが変わりやすい場所
・下記のように逆光になる場所（人の顔が暗く映り、識別しにくくなります。）

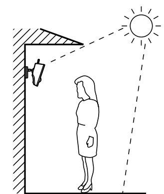
マンションの階上など、背景に空の占める割合の大きい場所



正面に、直射日光が反射する白壁がある場所



直射日光があたるような明るい場所



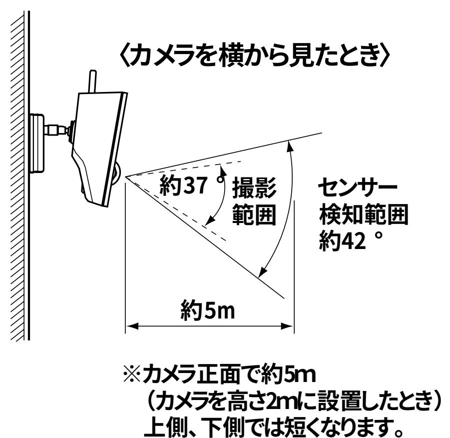
《カメラの人感センサーの検知範囲と撮影範囲について》

人感センサーは、温度をもつものから自然に放射される赤外線によって生じる温度変化を検知します。そのため、人や動物などの動きを検知できます。

センサーの検知範囲とカメラの撮影範囲

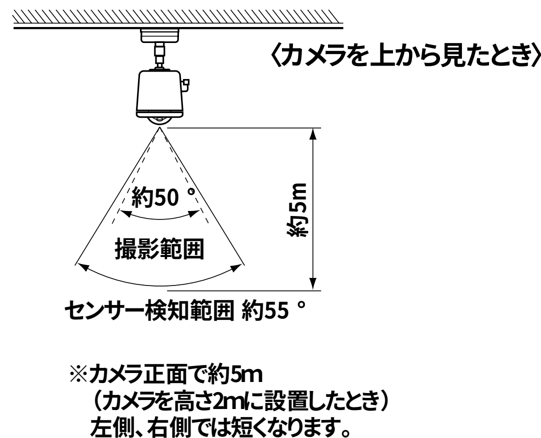
（周囲の温度が約20℃のとき）

〈カメラを横から見たとき〉



※カメラ正面で約5m
（カメラを高さ2mに設置したとき）
上側、下側では短くなります。

〈カメラを上から見たとき〉



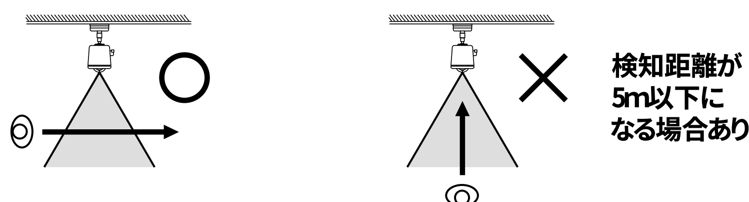
※カメラ正面で約5m
（カメラを高さ2mに設置したとき）
左側、右側では短くなります。

カメラの設置条件	
品番	VL-W810K
品名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ

パナソニック コミュニケーションズ株式会社

作成年月	2005.12	図面整理番号	——	SC-0

●センサーは横からの動きによる温度変化を検知しやすく、正面からの動きは検知しにくくなります。カメラの前を人が横切るような場所に設置してください。



●センサーの検知範囲は、環境温度や対象の移動スピードなどの条件により大きく変化します。設置場所に注意してください。
●人感センサーは次の場合にも反応することがあります。
・犬、猫などの小動物・車など・検知範囲内に入る雨や雪
・風でカメラ周辺の温度が変化した場合
●次の場合は、検知範囲内でも人感センサーが反応しないことがあります。
・夏場のように周囲の環境温度と人の表面温度の差が少ない場合
・冬場など厚手の服を着ている場合
・センサー部に雨、雪が付いた場合
●冬場のように温度が低いときは、検知距離が5mより長くなることがあります。

《プライバシー・肖像権について》
カメラの設置や利用につきましては、ご利用されるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。
※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利と一般的に言われています。

■工事上の注意

●電源について：必ず遮断装置を介した次のいずれかの方法で接続してください。
（1）電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）に容易に手が届くこと。
（2）3.0mm以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。
ブレーカーは保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用すること。
●本機は電気設備技術基準による施工を行ってください。
・使用する埋込みボックス（電源線とその他の信号配線材の間）に、堅牢な隔壁を設ける。
・金属ボックスを使用する場合はD種接地を行う。
・配線材はAC600V以上の絶縁電線を使用する。
●屋外設置で電源プラグを使用するときは、本機の近くに屋外用の電源コンセントや電源ボックスを設置してください。（電源プラグは防水対応ではありません。）
※電源コンセントや電源ボックスの設置については、配線工事業者へご相談ください。
●空中配線はしないでください。（カメラが雷などの影響を受けることがあります。）

カメラの設置条件	
品　番	VL-W810K
品　名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ

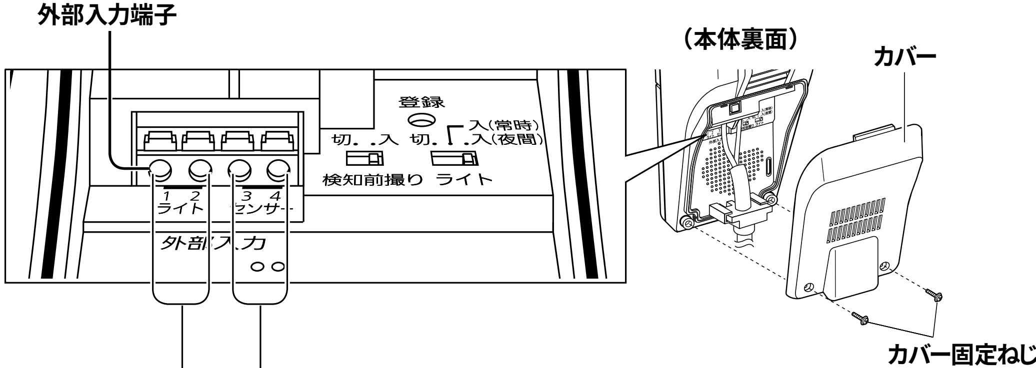
パナソニック コミュニケーションズ株式会社

作成年月	2005.12	図面整理番号	——	SC-0

■外部入力端子について

本機の背面カバーを外すと、LEDライトスイッチ端子と外付けセンサー端子があります。
必要に応じて使用します。

※各端子への接続は、電源を切り、カメラをスタンドから外した状態で行ってください。



(2) 外付けセンサー端子
本体の人感センサーを使わず、外付けの人感センサーを使うときに使用します。

●接続機器：外部人感センサー
（動作確認済み）

竹中エンジニアリング（株）製	
品番: MS100A	

●カメラの撮影範囲を外付けの人感センサーが 検知できる位置に設置してください。

●この端子に機器を接続したときは、カメラ機能の「センサー種別」の設定を「外部入力」に変更してください。本体の人感センサーは働かなくなります。

(1) LEDライトスイッチ端子
本体のＬＥＤライトを手動で入/切できるスイッチを使うときに使用します。

●下記「端子部の仕様」「線種と配線距離」の記載に合った機器を接続してください。

※端子部の仕様について
「LEDライトスイッチ端子」…開放時電圧:約13 V
短絡時電流:約11 mA（短絡時ライトが点灯）
「外付けセンサー端子」…開放時電圧:約4 V
短絡時電流:約4 mA（短絡/開放 連続 100 ms 以上で検知）

●線種と配線距離（下表の線種・配線距離以外で使用されると、動作不良の原因になります。）

配線区間	線　種	配線距離
(1) LEDライトスイッチ端子 ～接続機器	単芯線（mm）：φ0.65～φ0.8	100 m 以内
(2) 外付けセンサー端子 ～接続機器	単芯線（mm）：φ0.65～φ0.8	接続する機器の仕様に従う （ただし、20 m 以内）

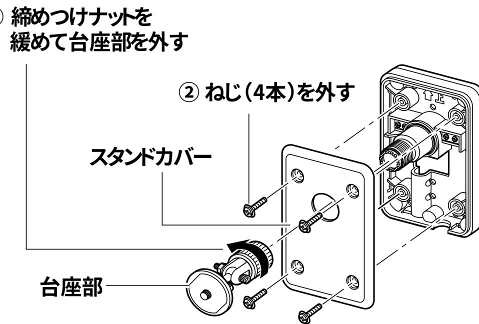
外部入力端子について	
品　番	VL-W810K
品　名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ

パナソニック コミュニケーションズ株式会社

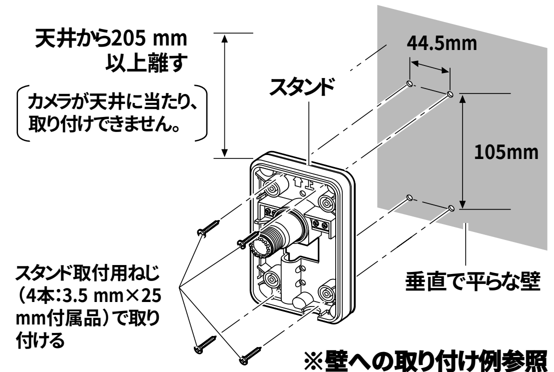
作成年月	2005.12	図面整理番号	——	SC-0

■カメラの取り付けについて（Ⅰ）

1. スタンドカバーを外す



2. スタンドを壁面に確実に取り付ける

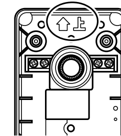


●不安定な場所、振動の多い場所、
強度の弱い壁には取り付けない

石膏ボード・ALC（軽量気泡コンクリート）
・コンクリートブロック・厚さ2.5 cm
以下のベニヤ板など。

※落下により、けがの原因になります。

●スタンドは「⇧上」の表示が上側に
なるように取り付ける



※上記以外の向きで取り付けると、内部
に雨水などが入り、火災・感電の原因
になります。

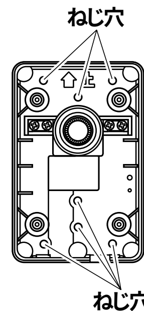
壁への取り付け例

（例）材質がモルタルやコンクリートの場合

① 取り付け位置にスタンドを合わせる

② 使用するねじ穴（上下各2か所）に
スタンド取付用ねじを軽くねじ込み、
壁にしるしを付ける

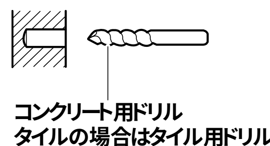
③ しるしに合わせて下記のように穴を
あけ、アンカー（市販品）を差し込む



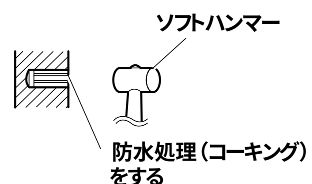
〔スタンド平面図〕

●ねじ穴は7か所あります。使いやすい穴を
上下2か所ずつ（計4か所）固定してくだ
さい。ねじ穴部の壁は薄いので、スタンド
取付用ねじを軽くねじ込むとあきます。

1. アンカーのサイズに合わせて、
穴をあける



2. アンカーを差し込む
（ソフトハンマーで軽くたたく）



※壁にあけるドリルの径の大きさは、購入したアンカーの説明書を参照してください。

※市販品のアンカーを購入する際は、本機に付属のスタンド取付用ねじ（3.5 mm×25 mm）に対応していることを確認してください。

※工事は販売店に依頼されることをお勧めします。壁への穴あけ工事について、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

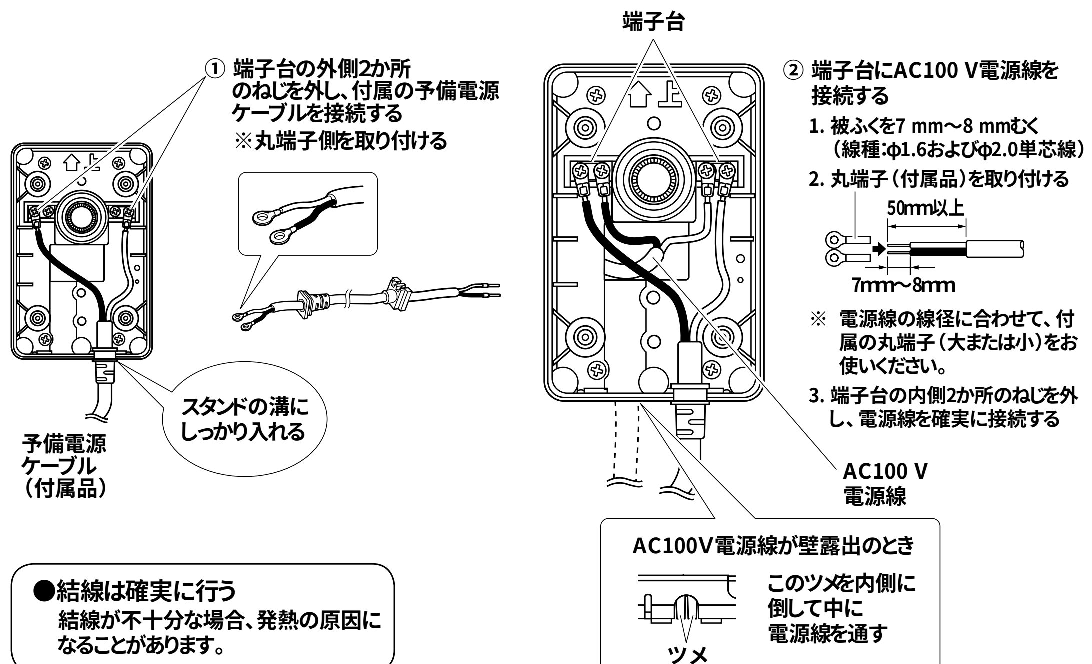
※モルタル塗壁の場合は、穴あけにより、古い壁が落ちることがありますので、注意して穴あけをしてください。

カメラの取り付けについて（Ⅰ）	
品　番	VL-W810K
品　名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ

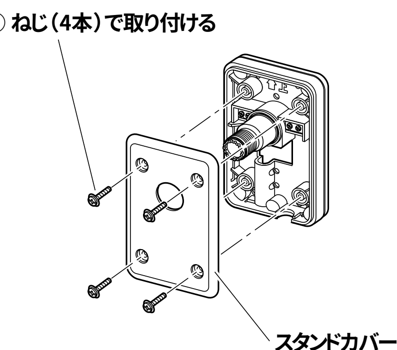
■カメラの取り付けについて（Ⅱ）

3. スタンド電源線を接続する［AC100V電源線を直結する場合のみ］

※電気工事士の資格が必要



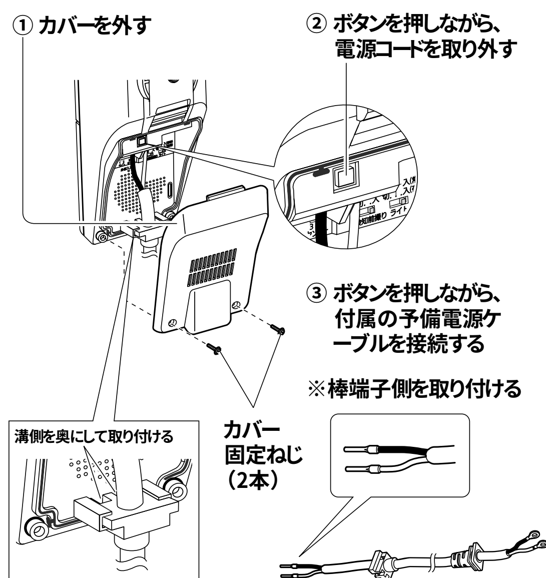
4. スタンドカバーを取り付ける



5. カメラに電源線を接続する［AC100V電源線を直結する場合のみ］

※電気工事士の資格が必要

●カバーを外す際に前面のレンズカバーを傷つけないよう、柔らかい布などを下に敷いてから行ってください。



カメラの取り付けについて（Ⅱ）	
品　番	VL-W810K
品　名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ

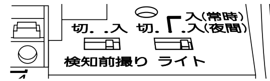
パナソニック コミュニケーションズ株式会社

作成年月	2005.12	図面整理番号	——	SC-0

■カメラの取り付けについて（Ⅲ）

6. スイッチを確認して配線材を接続する、（外部入力機器がある場合のみ）

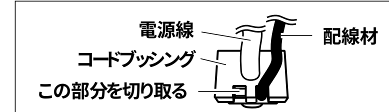
① 「検知前撮りスイッチ」と「LEDライト切替スイッチ」の設定を確認する



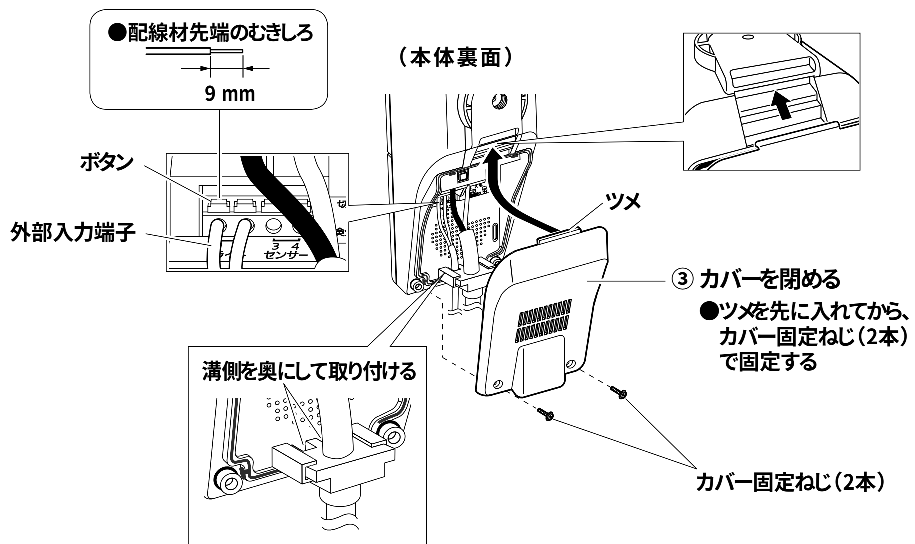
② 「外部入力端子」に配線材を接続する

●「外部入力端子について」（9ページ）に従って正しく接続してください。

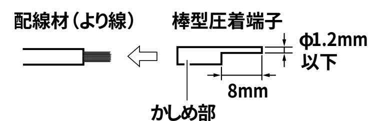
●配線材はコードブッシングの下部を切って通してください。



●配線材の抜き差しは、各端子の上にあるボタンをドライバーの先などで押しながら行ってください。

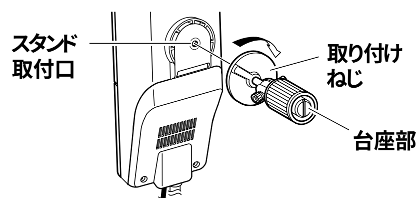


●配線材の線種が「より線」の場合は、棒型圧着端子（市販品）を取り付けてから接続してください。（配線材の隣りどうしがショートしないようにしてください。



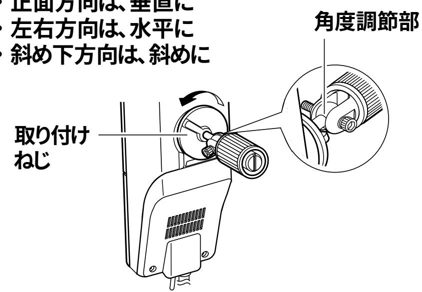
7. カメラを取り付け、角度を調整する

① 取り付けねじを矢印の方向に回して、台座部をカメラに取り付ける。



② 取り付けねじを逆の方向に少し回して、角度調節部の向きを合わせる（カメラを取り付ける向きによって、下記のように）。

・正面方向は、垂直に
・左右方向は、水平に
・斜め下方向は、斜めに



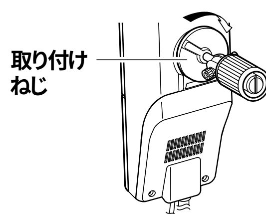
カメラの取り付けについて（Ⅲ）	
品　　番	VL-W810K
品　　名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ

パナソニック コミュニケーションズ株式会社

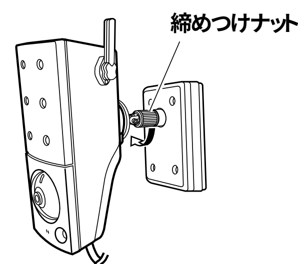
作成年月	2005.12	図面整理番号	——	SC-0

■カメラの取り付けについて（Ⅳ）

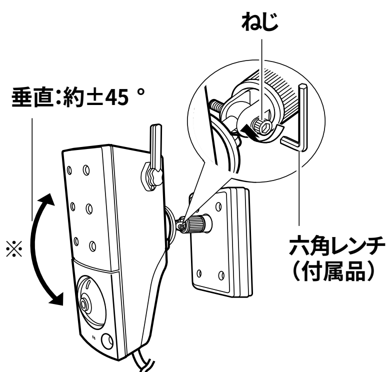
③ 指で角度調整部の向きを固定したまま、取り付けねじを矢印の方向に回して固定する。
●取り付けねじは、工具を使って確実に締めてください。



④ スタンドの締めつけナットを回して、カメラをスタンドに確実に固定する。



⑤ カメラの角度を調整し、六角レンチ（付属品）でねじを締めて、確実に固定する。
●モニターしたい位置が映っているか、確認しながら調整してください。



※水平方向の調整の場合は、約±90 °

●上記手順 ① ～③ を行う際は、取り付けねじのねじ山が4 mm 以上入るようにしてください。
●スタンドにぶらさがったり、カメラ以外のものを固定しないでください。

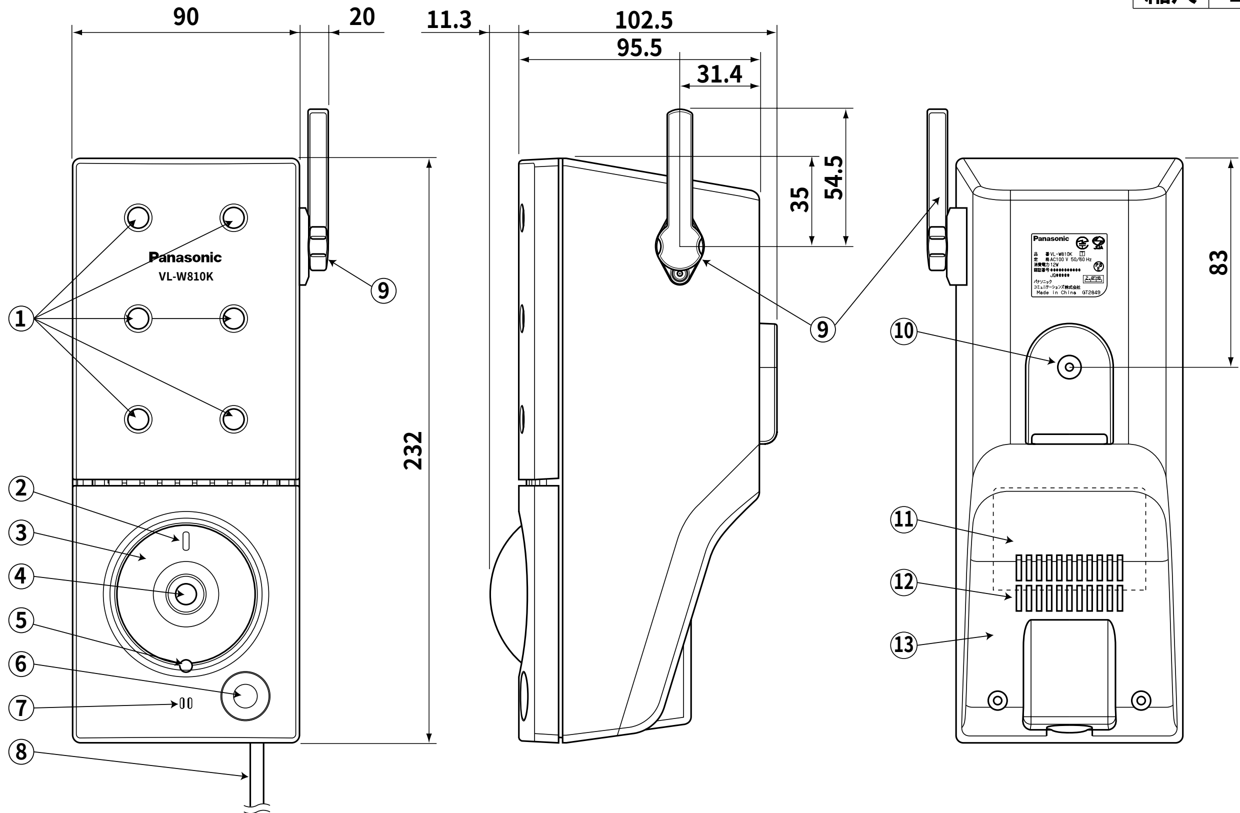
8. 電源プラグをコンセント（AC100 V）に差し込む［電源プラグで使用する場合のみ］

カメラの取り付けについて（Ⅳ）	
品　　番	VL-W810K
品　　名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ

パナソニック コミュニケーションズ株式会社

作成年月	2005.12	図面整理番号	——	SC-0

単位	mm
縮尺	1/3



■仕様

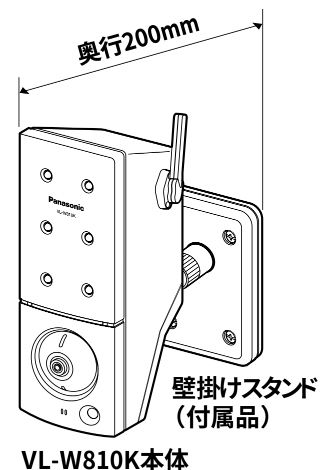
電　　　源	AC100V（50Hz /60Hz）
消 費 電 力	待ち受け時 約1.5W、動作時：約10W（LEDライト点灯時）、約2W（LEDライト消灯時）
外 形 寸 法（アンテナ突起部除く）	高さ232×幅90×奥行102.5 mm（スタンドなし時） 高さ232×幅90×奥行200 mm　（スタンド取付時）
質　　　量	約1180ｇ（本体のみ）
取 付 方 法	付属の壁付けスタンドを使用
使用環境条件	周囲温度 −10℃〜＋50℃ 湿度20〜90％以下 ただし結露しないこと
通信可能距離	約100m（親機との見通し距離）
外 観 材 質	PC＋ABS樹脂、アルミニウム
無線通信方式	2.4GHz 周波数ホッピング方式
撮 像 素 子	1/4型CCD センサー（30万画素）
出 力 画 像	JPEG圧縮コマ送り画像
最低被写体照度	1ルクス
焦　　　点	固定（2m〜∞）
撮 像 範 囲	水平：約50 °、垂直：約37 °
センサー検知方式	焦電型赤外線センサー
センサー検知範囲	水平：約55 °、垂直：約42 °、距離：約5m（周囲温度：約20 ℃時）
LEDライト※1	白色LED 6個
防　水　性	防雨構造（JIS C 0920 防水保護等級 3）※2
取付角度調整	水平：約±90 °、垂直：約±45 °

※1　正面5mで約5ルクス、正面から左右20 °5mで約1.5ルクス

※2　鉛直から60 °の範囲の降雨によって、有害な影響を受けない程度の防水性能。

番号	名　　称	番号	名　　称
①	LEDライト	⑧	電源コード
②	ランプ	⑨	アンテナ
③	レンズカバー	⑩	スタンド取付口
④	カメラレンズ	⑪	外部入力端子およびスイッチ類
⑤	明るさセンサー		
⑥	人感センサー	⑫	スピーカー
⑦	マイク	⑬	カバー

■取付け図



仕様/外形寸法図	
品　　番	VL-W810K
品　　名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ

パナソニック コミュニケーションズ株式会社

作成年月	2005.12	図面整理番号	——	SC-0

■ VL-W810K 本体と付属品

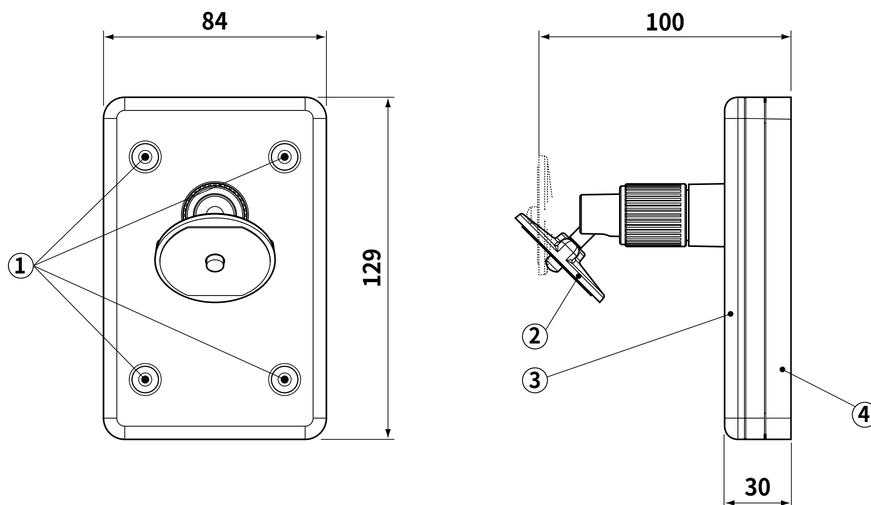
本体 VL-W810K	
壁掛けスタンド （1個）	 ・VL-W810K本体を壁などに取り付けるときに使います。
スタンド取付用ねじ 3.5mm×25mm （4本）	・壁掛けスタンドを壁などに取り付けるときに使います。
予備電源ケーブル （1本）	 ・AC100V電源線を直結する場合に使います。 ※扱いには、電気工事士の資格が必要です。
丸端子 （大、小）各2個	 ・AC100V電源線を壁掛けスタンドの端子台に取り付けるときに使います。 ・電源線の線径にあわせて、大、小を選びます。 ※扱いには、電気工事士の資格が必要です。
六角レンチ （1本）	・カメラを壁掛けスタンドに固定するときに使います。

VL-W810K 本体と付属品	
品　番	VL-W810K
品　名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ

パナソニック コミュニケーションズ株式会社

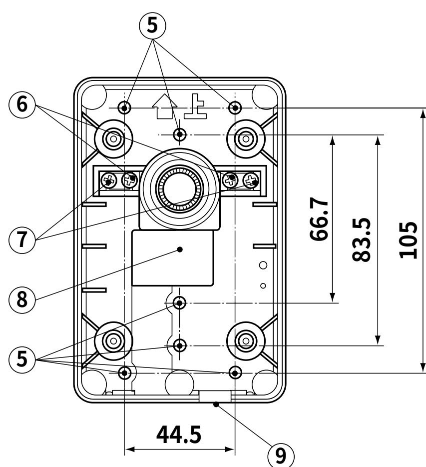
作成年月	2005.12	図面整理番号	——	SC-0

単位	mm
縮尺	1/3

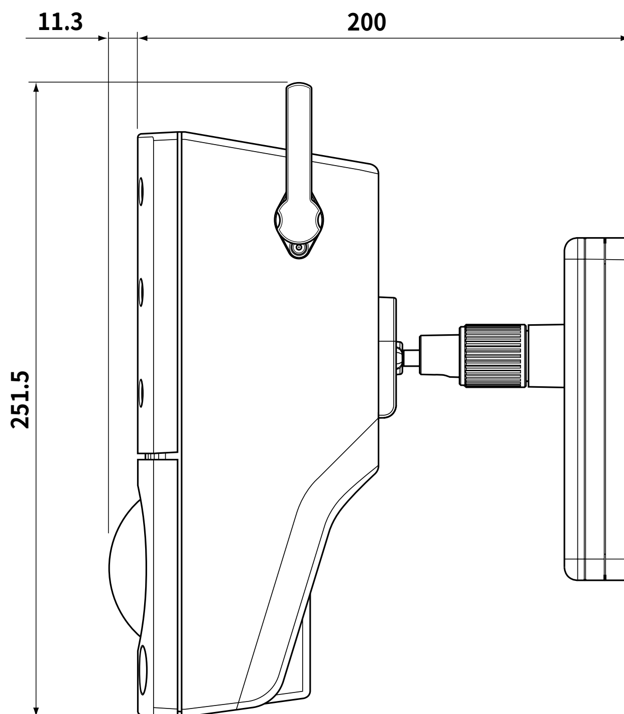


質量：約230g（壁掛けスタンド本体のみ）

■スタンド取付け用ねじ穴詳細寸法（スタンドカバーを外した図）



■VL-W810K本体取付け時寸法



番号	名　　　称
①	スタンドカバー止めねじ
②	台座部
③	スタンドカバー
④	スタンド
⑤	スタンド取付け用ねじ穴
⑥	AC100V電源線接続用端子台
⑦	予備電源ケーブル接続用端子台
⑧	AC100V電源線通し口
⑨	予備電源ケーブル通し口

※⑤スタンド取付け用ねじ穴は、上下2ヵ所ずつ（計4ヵ所）使いやすい穴を選びます。

仕様/外形寸法図	
品　　番	――――
品　　名	壁掛けスタンド（付属品）

パナソニック コミュニケーションズ株式会社

作成年月	2005.12	図面整理番号	――	SC-0